

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 創作支援のための知覚的スタイル模倣フレームワーク

2. 個人研究者名

矢倉 大夢（筑波大学理工情報生命学術院 大学院生）

3. 事後評価結果

本研究では画像、音声、3D空間といった多様な対象に対し、「模倣」に着目するという独自の発想に基づく創作支援技術の開発に取り組んだ。特に、「模倣がどのくらい適切にできているのか」という複数要素が絡む難しい問題に対し、人の捉え方を反映した知覚的尺度を得る手法の開発を行うなど、課題に対する大きな技術貢献が見られた。さらに、すでに普及しているソフトウェアでの写真スタイルの模倣、メイクアップスタイルの模倣に関して実装・実験を行い、歌声の加工という異なる対象へのアプローチ拡張にも意欲的に取り組んだ。以上のように模倣をキーワードに多くの課題に挑戦し、その成果を主要な学会や論文誌で発表し、トップ会議の Best Paper Honorable Mention award 等多数の賞を受けるなど、顕著な成果をあげた。